



令和5年度 張碓小学校グランドデザイン

日本国憲法・教育基本法
等に基づいた教育活動
小樽市教育推進計画

生きて働く力の育成

保護者・地域の想い
に応える学校教育

学校教育目標

- ・学習にはげむ子ども
- ・礼儀正しい子ども
- ・健康な子ども

■令和5年度の重点目標■

「互いに認め合い学び合う児童の育成」

◎自分や相手を価値のある存在と考えられる子ども

キーワード

「互いを思いやり・支え合い・共働するチームに！」

目的意識・役割意識・多様な連携

学習にはげむ子ども (知)

- ・全校で統一性のある授業展開
- ・基礎・基本の確かな定着
- ・複式学級張碓スタイル

礼儀正しい子ども (徳)

- ・生徒指導の3機能を生かした指導
- ・いじめをしないさせない
- ・互いを思いやる言動
- ・規範意識、自己肯定感の育成

健康な子ども (体)

- ・年間を通した体力向上
(縄跳び、ボルダリング)
- ・新体力テストを活用した授業
- ・健康、安全意識の育成と実践

重点的な取組

協働的な学びを深める授業改善

一人一人に丁寧に目を向けた生徒指導の充実

「チーム力」を生かした持続可能な学校運営の推進

小中一貫教育の推進

- ・銭函地区4校で連携した教科担任制や授業交流
- ・児童会、生徒会を中心とした児童・生徒の交流
- ・教職員間の連携による児童・生徒理解の充実
(中一ギャップの解消)

家庭・地域との連携

- ・銭函地区「学校運営協議会」との連携
- ・保護者と連携した家庭学習習慣・読書週間の定着
- ・地域人材、教育資源を生かした教育活動の推進

一人一人を大切にした 「温かな学校」

全体への配慮を厚くした「安定した学級経営」

